

ニューヨーク国連研修 参加申込書

私は、2017年度ニューヨーク国連研修に参加を申し込みます。 参加申込書提出日： 2017年 月 日		写真貼付欄 ○3cm×4cm程度 ○上半身脱帽 ○3ヶ月以内に撮影したもの ○スピード写真可 ○写真は2枚用意し1枚は貼付、1枚は申込書と一緒に提出
フリガナ	ローマ字氏名	
氏名：	* パスポート表記と同じように記入。 例) BUNKYO TARO	
学籍番号：	生年月日：	年 月 日 (才) <small>申込書提出日時点での年齢を記入</small>
所属：	学部	学科
旅券(パスポート)の有無： <u>有</u> ・ <u>これから申請</u> ・ <u>再発行</u>		国籍： 血液型：
* パスポートが「有」の場合⇒パスポート番号：		有効期限： 年 月 日
メールアドレス(PC)：	PC メール使用頻度 → 毎日 ・ 時々 ・ たまに	
メールアドレス(携帯)：		
◎現在クレジットカードを持っていますか？ <u>ビザ</u> ・ <u>マスター</u> ・ <u>アメリカンエキスプレス</u> ・ <u>JCB</u> / <u>クレジットカードは持っていない</u>		
海外渡航経験	期 間	主な渡航先
有 ・ 無	例) 2007年7月～2005年8月	例) オーストラリア・シドニー
		目 的
		例) ホームステイプログラム参加
語学力	英検	TOEFL/TOEIC
	級 年 月 受験・取得	スコア 点 年 月 受験
		英語学習機関および期間
		語学学校名： 期間： 年 月～ 年 月
フリガナ		
現住所： 〒 - -		
		Tel: 携帯:
フリガナ		
【保証人連絡先】氏名：		本人との続柄：
フリガナ		
住所： 〒 - -		
		Tel: 携帯:
【参加志望動機】 *必ずご記入ください。		
【留意事項】 ◆この申込書に黒ボールペンで必要事項をご記入の上(鉛筆書きは不可)、指定された期日の締切時間までに国際交流室へ申込者本人が提出してください。 ◆写真は2枚用意し、1枚は本紙の写真貼付欄に貼り、もう1枚は裏面に油性ペンで氏名・学籍番号を記入して申込書に添付して国際交流室へご提出ください。 ◆パスポートをまだ持っていない方は大至急各自で申請手続き行ってください。参加申込書提出時にはパスポート取得もしくは取得見込みの状態にしてください。 ◆パスポートを所持されている方、パスポート有効期限によっては再発行が必要な場合があります。 ◆この参加申込書にご記入頂いた情報は、当研修に関わる業務上必要なものであり、それ以外の目的に使用することはありません。 また、ご記入いただいた海外渡航経験や語学試験のスコアは、参考資料としてのみ使用させていただきます。		

★受付日： /

文教大学 国際学部 海外研修プログラム 参加申込誓約書

文教大学国際学部学部長 塩沢 泰子 先生

国際学部国際交流・UNAI 委員長 本浜 秀彦 先生

私は、国連アカデミック委員会企画の2017年度ニューヨーク国連研修に参加申込みをするにあたり、以下に記載されている諸事項を理解し、同意の上、参加することを誓約いたします。

■申込をするにあたり理解する事項

1. 参加申込書提出後は、本学が正当と認めたとき以外、辞退(キャンセル)は認められない。また、事由を問わず辞退(キャンセル)によって生じる諸費用(キャンセル料金、手数料、為替差損等)がある場合にはそれを負担する。
2. プログラム参加に係る経費を渡航前に用意する必要性を理解し、事前に保証人の了解を得て出願する。また、プログラム参加にかかる費用は必ず定められた期日までに支払う。
3. 研修先の安全上の状況によっては、本学がプログラムの中止・延期を決定する場合がある。

■参加確定後に必要な手続きに関する事項

4. 参加に必要な諸手続き(パスポートの取得・費用支払・保険加入・提出の必要がある書類・研修先の指定提出書類等)は責任をもって虚偽の記述をせず指定期日までに行う。
5. 出発から帰国までを保険期間とするプログラム指定の海外旅行保険への加入を行う。また、やむをえない理由で指定の海外旅行保険ではなく、別途個人で保険に加入する際は、本学の了解を得たうえで、保険証書のコピーを提出しなくてはならない。
6. 提出書類に記載された個人情報、渡航や参加手続きの目的のため、研修先や取扱旅行社、本学が指定する保険会社・保険代理店、受入機関へ提供されることに同意する。

■プログラム参加期間中に関する事項

7. 研修期間中は、滞在国の法令、本学及び研修先の規則を遵守し、引率者や担当者の指示に従うこと。また本学生としての自覚と責任をもって行動し、自主的・自覚的に健康管理や安全確保に注意すること。
8. プログラム期間中、災害・暴動・テロ・事故・疾病・犯罪などによる損害や不慮の災難について、本学に一切責任を問わない。
9. 渡航期間中に故意または過失により受入機関その他に生じさせた損害は、本人がその責任を負う。
10. プログラム期間中は、プログラムが実施される国以外に出国しない。
11. プログラム期間終了後は、プログラムに定められた行程の通りに必ず帰国する。

■プログラム終了後に関する事項

12. プログラム参加中の修学・生活情報や提供された集合写真・個人写真などの個人情報をプログラム運営の目的のために本学が使用することがあることを了承する。

所属学部： _____ 学籍番号： _____

2017年 月 日 学生氏名： _____ 印